

由岐句会

投げ銭の供養自肅や暮の秋 (森本富美子)
 草紅葉道辺に小さき道祖神 (片山宇野代)
 釣瓶落しに山が沈んでしまいきり (中川 秀司)
 山また山谷また谷や祖谷晩秋 (住谷 喜舟)
 色変えぬ松の風きく神の杜 (戎谷 久代)
 浦里の作品展や暮の秋 (戎谷 利公)
 行く秋の入江に戻る夫婦船 (青山 文夫)
 虫喰いの葉をふるわせて冬薔薇 (下町 昭)
 石路の花海は藍色濃く深く (森 淨子)
 渦一つ一つ生みつつ水澄みぬ (岡本 真砂)

日和佐句会

庭木伐つて深秋の空広げゆく (白河 輝女)
 地蔵尊菊花を手向け祈る人 (橋本たかき)
 秋惜しむ夜半の湯舟に雨を聞き (本庄 潮乃)
 秋深し眠られぬ夜に映画見る (森 公子)
 秋の虹目を離す間に消えにけり (福井 咲希)
 うつし絵の亡母好みたる秋裕 (永井 雅代)
 茶の花や出会う村人みな丸し (名田みや女)
 銀杏散り止まぬ刹那の畏れかな (勝瑞 高春)

日和佐短歌会

からからと音立て走りゆく枯葉風とたわむれ語らう如く (栗林 和子)
 散歩する二、三歳児が保育士に連らなりてゆく子鴨のように (福井 郁子)
 橋渡る下の川面を見わたせば水輪が出て鴨泳ぎおる (小延 恭弘)
 釣人の捨てし魚があえぎいて水に返せば見えずなりけり (本庄たゑ子)

投稿 (短歌)

早咲きの一輪咲きしコスモスのオオゴマダラ蝶の命こうなり (張野 浩子)
 誰彼にホーム入所を知らせては早寝きめこむ九十一歳 (下町 昭)

町民文芸のコーナーに掲載を希望される場合は、政策推進課 (☎ 77 - 3616) まで連絡をお願いします。

※原稿は前月の15日前後までに提出してください。

にぎやかそクイズ??

▶問題.....
 漁獲量の減少や漁師の高齢化など、漁業が直面している様々な課題に取り組むため、由岐地区の3漁協が合併することが決まりました。合併後の新たな漁協の名前は何でしょうか？



▶応募方法.....
 答え、郵便番号、住所、電話番号、氏名をご記入のうえ、葉書かメールでご応募ください。美波町役場（政策推進課）もしくは由岐支所にご持参いただいても結構です。正解者は、次号の「広報みなみ」に氏名を掲載させていただきます。締め切りは、12月18日(金)です。
 ▶応募先.....
 〒779-2395
 徳島県海部郡美波町奥河内字本村18番地1
 美波町役場政策推進課 広報担当
 E-mail : seisakusuishin@minami.i-tokushima.jp

11月号の答え「ぼてっとライト」
 正解者 (敬称略)
 藤崎真一 (奥河内)、鍛冶典世 (日和佐浦)、
 高木初代 (日和佐浦)、山下寿代 (北河内)